

# 第6回

# 港KOMACHIBA 活動内容



ペットボトルキャップがワクチンにか  
わるまで



① ペットボトルキャップは、回  
収業者によってリサイクル資源と  
して売られます



② 売られた際の売却益がJCVへ  
の寄付となります



③ UNICEFと連携して、世界の  
ワクチン工場へワクチンを発注し  
ます



④ 製造されたワクチンは冷凍の  
まま空輸で、支援国へ届けられま  
す



⑤ 支援国のワクチン保管センタ  
ーで冷蔵・冷凍状態で保管されま  
す



⑥ 各地の予防接種会場で子ども  
たちへワクチンを接種します



今回の活動は、ペットボトルのキャップを集め、認定NPO法人へ  
送りました。キャップは回収業者の買取金額の一部が寄付となり、  
世界中の子供たちがワクチンを接種できるようになるのです。  
また買い取られたペットボトルキャップはリサイクルされて、  
新たな資源に生まれ変わります。ペットボトル飲料は普段私達が  
手にする身近な物です。普段捨てる物を認定NPO法人へ送るだけで  
ワクチン接種の手助けをし、資源も再利用できます。  
環境にも優しく身近な所から始められる支援だと思えます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

港KOMACHIBAはSDGsに向けた取組みを行っています。



今回送ったペットボトルキャップ  
…約1290個(3.0kg)



- ポリオワクチン：1.5人分
- BCGワクチン：4.3人分
- キャップ焼却の際に出るCO2の発生量  
…9.6kg 削減！！



※世界中の子供たちにワクチンを日本委員会 (<https://www.jcv-jp.org/>) より引用